

# 十一月の保育

及川ふみ

十一月は三日の明治

節、十日の紀元二千六百年式典、十一日の紀元二千六百年奉祝會なきあつて、幼児に國家、皇室に對しての尊敬、感謝の念を層一層深く培ふのよい機会が度々あるのであるから、この期の保育案をたてるのに當つて十二分にこの點に留意しなければならぬ。唱歌にも、談話にも、觀察にも、手技にも、それら適切なる材料を見出したものである。又十月についで自然の觀察として紅葉、落葉、實つた稻なき出来るだけ實物について觀察がのぞましい。

第一週 十一月四日——九日

月

唱歌遊戯 奉祝國民歌紀元二千六百年

國旗作り 紀元二千六百年式典として保育室を飾る國旗を作る。畫用紙或は模造紙、半紙なき材料の手に入りやすいもので作つて、絲に吊して裝飾とする。

火

お話 お米の話、擬人法によつて幼児のお辨當の御飯から話し出すのも一方法かとも思はれる。  
自由畫 園庭にある紅葉を拾つて寫生させる楓、葛、櫻、いてふ

水

粘土 自由製作

木

唱歌遊戯 奉祝國民歌紀元二千六百年  
團栗の日の丸コマ

金

お話 紀元二千六百年式典のお話  
國旗づくり、幼児の帽子、胸なきに飾る小國旗をつくる

土

唱歌遊戯 紀元二千六百年

第二週 十一月十一日——十六日

月

紀元二千六百年奉祝會

全園幼児一堂に會して奉祝、國旗をかざして園内を旗行  
進をするもよい。

火

自由畫 菊の花

園庭の菊、或は花瓶の菊なき出來るだけ簡單な枝ぶり  
のものを材料とする。

水

唱歌遊戯 木の葉

木

お話 七五三神詣

人形作り

金

粘土 自由製作

土

唱歌遊戯 木の葉

自由畫 七五三

第三週 十一月十八日——二十三日

月

お話 日曜日のここの話合ひ

自由畫

火

唱歌遊戯 工夫さん

水

ヌリエ ヒカウキ

木

お話 三匹の子豚

自由畫 三匹の子豚

金

唱歌遊戯 工夫さん

新嘗祭のお話

土

新嘗祭々日

第四週 十一月二十五日——三十日

月

唱歌遊戯 工夫さん

火

お話 童話

粘土 みかん

水

紙仕事 古端書で自由製作

木

唱歌遊戯 工夫さん

ヌリエ ダルマ

金

開校記念日休み

土

お話

自由畫